

## 会議録

会議の名称	平成30年度第4回西東京市総合計画策定審議会
開催日時	平成31年2月6日（水）午前9時30分から午前10時45分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎5階502会議室
出席者	池田正幸委員、大河内一紀委員、川口幸子委員、菊地原美和委員、小林正和委員、中村桂子委員、則武智委員、安田賢憲委員、山本泰嗣委員、米森修一委員、和田清美委員（50音順） 事務局：飯島企画部長、古厩企画部企画政策課長、佐野企画部主幹、神保企画政策課主査、高橋企画政策課主査、浅水企画政策課主事、水谷企画政策課主事
議題	1. 後期基本計画（案）について 2. 答申について 3. その他
会議資料の名称	資料1 第2次総合計画（後期基本計画）答申（案） 資料2 第3回審議会以降の取組について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

### 会議内容

#### 議題1 後期基本計画（案）について

事務局より資料1～2に沿って説明

○和田会長：

資料1の健康都市プログラムの「①多様な世代の活動・交流の促進」において、成果指標の「担い手人材の登録者総数」は「精査中」となっていますが、どのように算出するのですか。

○事務局：

「担い手人材の登録者総数」は、「①多様な世代の活動・交流の促進」の「活動・交流の担い手人材の育成支援・活用促進」にある、人材に係る5つの事業に関連する担い手登録者数（ボランティア・市民活動センター登録者、ほっとネット推進員等）を合計して算出します。「創1-3 地域教育協力者活用事業の実施」に係る実績値の確認に時間を要しているため、確認次第、本指標の現状値と目標値を設定させていただきます。

○事務局：

これまで「（仮称）加速化事業グループ」としていましたが、正式名称を「健康都市プログラム」としたいと考えています。個別計画である「健康づくり推進プラン後期計画（健康都市プログラム）」を踏まえ、最上位の計画である総合計画（後期基本計画）では、「まち」の健康という、より広い視点としての「健康都市プログラム」とするのがよいと考えています。

○F委員：

過去に「（仮称）加速化事業グループ」という名称で対外的に公開している場合、名称を変更した経緯を記載する必要がありますか。

○事務局：

「（仮称）加速化事業グループ」は審議過程のみで使用している名称です。本日の審議会での承認をもって、正式に「健康都市プログラム」という名称に決定したいと考えています。

○D委員：

3つの事業グループは、施策横断的にまとめて整理されており、理解しやすいと思います。

名称については、「健康」応援都市の実現に向けた取組をさらに加速化させるために、施策横断的に取り組むということが、「（仮称）加速化事業グループ」の名称から推測できましたが、「健康都市プログラム」は、そのようなイメージが分かりにくくなったような気がします。

「健康都市プログラム」は、どのように進めていくのですか。

○事務局：

実務的には、各施策に掲げる個別事業として進捗管理を行う想定です。評価方法については、個別事業をグループ化した「健康都市プログラム」をひとつの施策と見なして、施策評価を行いたいと考えています。

○G委員：

各論「笑2-1 健康づくりの推進」において、成果指標の目標値を「上げる」、「下げる」といった表現で示されていますが、具体的な数値の目標設定は難しいのですか。

○事務局：

成果指標の目標値の設定について、庁内調整の結果も踏まえ、現時点で具体的な数値化が困難なものについては、目指す方向性の記載にとどめています。施策評価の際は、目指す方向性と実際の数値の動向を比較することで、評価を行う想定です。

○和田会長：

成果指標の目標値を「上げる」、「下げる」といった表記方法は、他の計画等でもあまり見ないため、矢印等の表記方法を検討いただいてもよいのではないのでしょうか。

○F委員：

成果指標の目標値について、具体的な数値化が困難なのであれば、国で掲げている目標値や全国平均の数値等を参考にすることもよいのではないのでしょうか。

○事務局：

成果指標の目標値の表記方法については、ご意見を踏まえ検討します。

○J委員：

主要計画体系図に、行財政改革関連計画の記載が見当たりませんが、問題ないのでしょうか。

○事務局：

行財政改革は、第2次総合計画（後期基本計画）とは分けて推進しているため、本体系図には記載していません。ただし、各計画及び施策の推進にあたっては行財政の視点も取り入れています。

○K委員：

主要計画体系図において、「子育て・子育てワイワイプラン」は「地域福祉計画」の下に位置づけられていますが、「教育計画」にも関連すると認識しています。「地域福祉計画」の下に位置づけると、子育ての中でも特に保育園が意識されると考えられます。平成30年度から幼稚園の位置付けが変わったことなどもあり、幼稚園についても意識したものにはできないでしょうか。

○事務局：

現行の「子育て・子育てワイワイプラン」は、地域福祉計画の下に位置付けています。次期プランは、2020年度からの計画であり、位置づけを変える必要があれば、次期総合計画の中で反映することになります。

○K委員：

各論「創1-2 子育て支援の拡充」における待機児童解消に向けた取組や、今年10月より開始予定の幼児教育の無償化等もあり、「子育て・子育てワイワイプラン」はより重要になると思われるので、ぜひ今後も意識していただきたいと思います。

○B委員：

総論「これまでの取組と評価」において、「成果指標の達成度」中の「創2-2 『学習活動（公民館）の推進』の取組に対する市民満足度」、「創2-2 『学習活動（図書館）の推進』の取組に対する市民満足度」、「笑2-1 『健康づくりの推進』の取組に対する市民満足度」の実績値と、「施策に対する市民満足度（市民意識調査より）」中の各施策の平成29年度の値が、異なっているのはなぜでしょうか。

また、「施策に対する市民満足度（市民意識調査より）」中の市民満足度について、年度により実績値が変動している施策がありますが、年度によって設問を変えているのですか。

○事務局：

市民意識調査では、1つの施策に対し、公民館と図書館など複数の項目について、個別に満足度を聞いています。「成果指標の達成度」中の値は、成果指標単位の個別の満足度を、「施策に対する市民満足度（市民意識調査より）」中の値は、個別に聞いた満足度を施策単位にまとめて集計し直した満足度を記載しているため、値が異なっています。

なお、市民意識調査における対象者の考え方や満足度については、いずれの年度も全く同じ設問で調査をしています。

○和田会長：

ご意見ありがとうございます。

委員の皆様から頂いたご意見は、今後、後期基本計画の策定に向けた最終調整で反映していただき、答申書については、資料1のとおり答申とさせていただきますよろしいでしょうか。

(承認)

#### 議題2 答申について

- ・和田会長より市長に答申書を手交

#### 議題3 その他

○和田会長：

その他、事務局から連絡等がありますか。

○事務局：

本日の会議が、最終回となります。

委員の皆様におかれては、ご多忙中のところ、2年間にわたりご意見を賜り、感謝申し上げます。

後期計画書(冊子)は、3月下旬に出来上がる予定です。出来上がりましたら、皆様に送付させていただきます。

○和田会長：

その他、委員の皆様から連絡等がありますか。

○各委員：

(意見なし)

○和田会長：

それでは、これをもちまして、第4回審議会を終わらせていただきます。皆様、2年間にわたり、ありがとうございました。

(閉会)